

エゾクロツヤミズギワコメツキの形態について

大 平 仁 夫

〒444-35 岡崎市舞木町狐山 6-4

Notes on the Morphological Structure of *Fleutiauxellus*  
*yezoensis* (Coleoptera, Elateridae) from Japan

HITOO ÔHIRA

Kitsuneyama 6-4, Maigi-chô, Okazaki, 444-35 Japan

**Abstract** *Fleutiauxellus yezoensis* ÔHIRA is a negastriine elaterid beetle originally described from Is. Rishiri-tô in the Japan Sea off the Cape Nosappu of northern Hokkaido. It was also known from the mountain areas of Hokkaido.

General structure of this unique species examined by SEM-images (Fig. 1) is described for facilitating recognition of its systematic position in the genus *Fleutiauxellus* of the Negastrinae from Japan. Besides, it was found from Aomori Prefecture, northern Honshu, by a form to be described below as the subspecies *tsugaru* nov. The holotype of this new subspecies is preserved in the collection of the National Science Museum (Nat. Hist.), Tokyo.

*Fleutiauxellus yezoensis tsugaru* subsp. nov.

[Japanese name: Tsugaru-kuro-mizugiwa-kometsuki]

(Fig. 2 A-J)

**Male.** Length 4-5 mm. Body moderately elongate and more or less depressed above. Surface black and shining except for blackish brown antennae (3 basal segments more or less dusky brown); vestiture fulvous and decumbent, becoming longer on head and pronotum.

This new subspecies can be distinguished from the nominotypical subspecies from Hokkaido by the weaker longitudinal impression on frons, more rounded sides of pronotum with posterior angles more sharply pointed posteriorly, shorter 3rd segments of antennae, and more clearly yellowish brown tibiae.

**Holotype:** ♂, Sukayu in Aomori Prefecture, 7-VIII-1993, H. OZAKI leg. **Paratypes:** 1 ♂, Sukayu in Aomori Prefecture, 18-VIII-1991, H. OZAKI leg.; 2 ♀♀, same locality, 17-VIII-1992, H. OZAKI leg.; 3 ♂♂, 1 ♀, same locality, 7-VIII-1993, H. OZAKI leg.; 3 ♀♀, same locality, 15-VIII-1993, H. OZAKI leg.

**Distribution.** Aomori Prefecture, Honshu, Japan.

本種は、1963年7月に、柴田泰利氏が利尻島で採集された9個体の標本にもとづいて、ÔHIRA (1973) が新種として記載した黒色の小型種である。その後、北海道内陸の各地に分布することが判明しているが、最近になって青森県でも見出されたので、両地域に分布するものの詳しい形態や、分類上の位置について、ここに報告する。

本文を草するにあたり、この報文を發表するについて種々指導をいただいた国立科学博物館の上野俊一博士、標本について支援をいただいた層雲峡博物館の保田信紀氏、弘前市の尾崎俊寛氏、名古屋市の蟹江昇氏に心からお礼を申し上げる。

### 種の概要

本種は前述のように、*Fleutiauxellus* 属に所属する新種として ÔHIRA (1973) が利尻島から記載したが、KISHII (1976) は自身が設立した *Menoko* 属の種として本種の所属を変更し、同様に KISHII (1987) にも *Menoko* 属の種として扱い、分布に北海道を加えている。

原記載で筆者が“tarsi and claws simple”と明記しているにもかかわらず、どうして本種が爪の内側基部が拡大する *Menoko* 属の種と誤って扱われたのか不明であるが、ここに示したように本種の爪は簡単であり、雄交尾器の形態から判断しても *Fleutiauxellus* 属に所属する種であると考えられる。

本種は寒冷地系の種で、北海道でも山岳地帯に広く分布しているようであるが、詳しい生態などは不明である。また、最近になって青森県酸ヶ湯において本種が見出されたが、これは北海道産のものと同若異なるところがあるので、ここに亜種として記載することにし、その形態の概要も示した。

### 北海道産亜種の形態

雄。体長は4~5 mm、本属の種としては比較的大型である。体は黒色で光沢を有し、やや扁平状、上翅はときに黒褐色を呈する。触角は黒褐色(基部3節はやや暗褐色)、肢は黄褐色であるが腿節は暗褐色を呈し、体表面には黄褐色~褐色毛を生ずる。

頭部の前頭部は扁平であるが、正中部には浅い縦凹溝を生ずる (Fig. 1 B の ↖ 印)。前頭横線は幅せまく縁取られ、前縁は湾曲する (Fig. 1 B)。触角は細長く、前胸背板の後角より末端2節ほど後方に伸長する。第2節は短小で円筒状、第3節は細長い倒円錐形で、第2節の約1.6倍の長さ、第4節は第3節とほぼ等長である (Fig. 1 F)。小顎肢の末節は弱く端方へ拡大する。

前胸背板は矩形で幅よりやや長い。両側は中央やや後方部でもっとも幅広く、後角前で顕著に内方へ湾曲する (Fig. 1 G の ↗ 印)。背面は膨隆し、正中部には通常弱い平滑縦隆線を生ずる (Fig. 1 D の ↖ 印)。点刻間の表面は不規則な弱いしわ状を呈する (Fig. 1 D)。後角は後外方へ突出し、末端は鋭くとがる (Fig. 1 H)。背面の隆起線は短く、前胸背板の長さの1/3近くまで伸長する。前胸腹板突起は前肢基節腔を越えて後方へ直線状に伸長、末端は細まってとがる (Fig. 1 I)。小盾板は舌状で、両側は湾曲して末端に向かって漸次細まる (Fig. 1 C)。

上翅の条線は明瞭に印刻され、間室部はやや扁平、小点刻を生じ弱いしわ状になっている。腰板は幅せまく、中央部でやや拡大、それから外方に漸次細まる。肢の付節は簡単で、爪の内側基部は顕著に拡大しない。

交尾器の外形(背面)は図示したようで、中央突起は細長く、末端部は細まって鈍くとがる (Fig. 1 J) (図では末端部が破損)。側突起は細長く、末端は鋭くとがる (Fig. 1 K)。

雌。体長は5~5.5 mm。一般に雄に比べて体が大型で幅広い。触角は短く、末端は前胸背板の後角

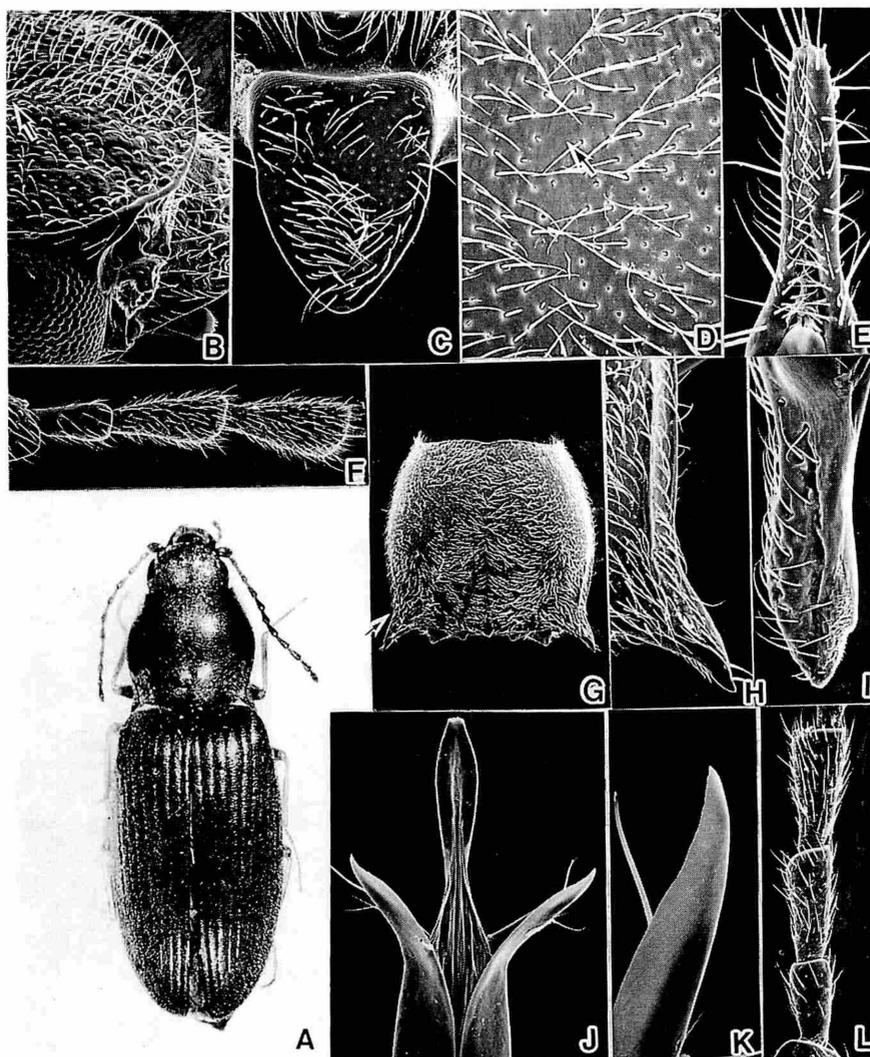


Fig. 1. *Fleutiauxellus yezoensis yezoensis* ÔHIRA, 1973, stat. nov., male (excluding A, E, L which are of a female) (Sôunkyô in Hokkaido). — A, Adult, body length 5.5 mm; B, frons of head, latero-dorsal aspect; C, scutellum; D, medio-dorsal surface of pronotum; E, ovipositor; F, L, 2nd to 4th segments of antenna; G, pronotum, dorsal aspect; H, right hind angle of pronotum; I, prosternal process, lateral aspect; J, K, apical portion of aedeagus, ventral aspect.

より末端1節ほど後方に伸長，第3節は円筒状で，第4節は第3節とほぼ等長である (Fig. 1 L)。産卵管は細長く，多数の不規則な剛毛を生ずる (Fig. 1 E)。また，内部生殖器の袋内の2枚の板状物はよく発達する。分布は利尻島，北海道。

調査標本：2♂♂，2♀♀，利尻島（姫沼），25-VII-1963，柴田採集（基準標本）。1♀，層雲峡，18-VII-1980，保田採集。1♂，4♀♀，大雪山（黒岳），1-VIII-1981，保田採集。1♀，上川町，5-VII-

1983, 保田採集. 1♂, ルベンベ川 (上川町), 3-VIII-1984, 保田採集. 1♂, 1♀, 羅白岳, 23-VII-1986, 蟹江採集.

### 青森県産亜種の形態

弘前市に在住の尾崎俊寛氏が, 青森県酸ヶ湯の山道の砂礫中より見出された個体を詳しく調べた結

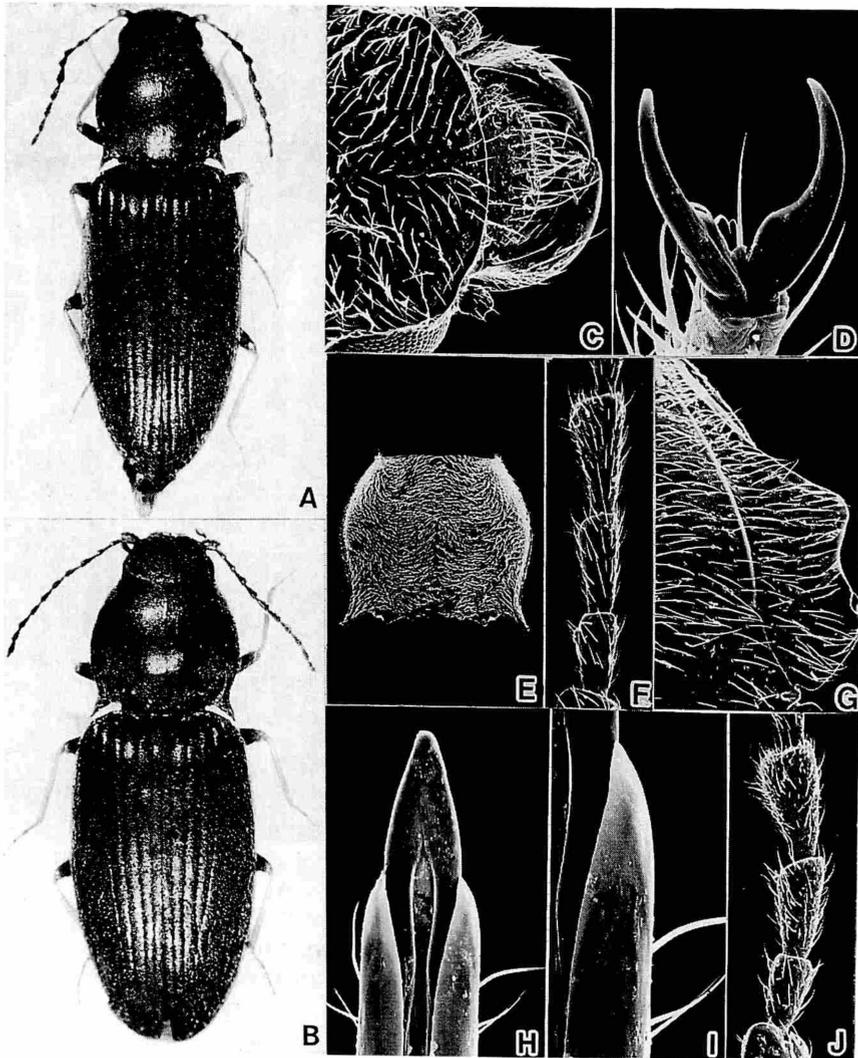


Fig. 2. *Fleutiauxellus yezoensis tsugaru* subsp. nov., male (excluding B, F which are of a female) (Sukayu in Aomori Prefecture, Honshu). — A, Paratype, body length 5 mm; B, paratype, body length 5.5 mm; C, frons of head, dorsal aspect; D, ungula of hind leg; E, pronotum, dorsal aspect; F, J, 2nd to 4th segments of antenna; G, basal plate; H, I, aedeagus, ventral aspect.

果、前記の利尻島や北海道内陸山岳地帯に分布する *F. yezoensis* であることが判明した。しかし、地理的な隔離によって生じたと思われる、色彩や形態上の若干の相違が見出されたので、ここに *F. yezoensis* の亜種として記載することにした。記載文は Abstract につづいて掲載した。

雄。体長は 4.5 mm。一般形態は図示 (Fig. 2) したようで、頭部の前頭部は弱く膨隆し、目のあいだの縦凹溝はより浅く印刻され、やや不明瞭である (Fig. 2 C)。触角の第 3 節はより短小で、第 4 節よりやや短い (Fig. 2 J)。前胸背板の両側はより顕著に外方に湾曲、背面の点刻はより小型で、点刻間の表皮面はより平滑である。また、後角はより後方に突出する (Fig. 2 E)。雄交尾器の外形は図示したようである (Fig. 2 H-I)。

雌。体長は 5~5.5 mm。体は雄より大型で幅広い (Fig. 2 B)。触角は短く、末端は前胸背板の後角よりやや長い程度、第 3 節は第 4 節より明らかに短い (Fig. 2 F)。また、雌雄とも、肢の脛節はより明かるい黄褐色を呈する。

調査標本: 5♂♂, 6♀♀, 青森県酸ヶ湯, 18-VIII-1991~15-VIII-1993, 尾崎採集。

#### 引用文献

- KISHII, T., 1976. New Negastrinae with some notes. Some new forms of Elateridae in Japan (X). *Bull. Heian High School, Kyoto*, (20): 17-45, 6 pls.
- 1987. A Taxonomic Study of the Japanese Elateridae (Coleoptera), with the Key to the Subfamilies, Tribes and Genera. 262 pp., 12 figs. Kyoto.
- ÔHIRA, H., 1973. New or little-known Elateridae from Japan (Coleoptera). *Kontyû, Tokyo*, 41: 97-98.